

## 第2回3月11日知事メッセージ起草委員会 主な意見

日 時 平成27年2月20日(金) 13:15～14:15

場 所 応接室（本庁舎2階）

出席者 委員長：知事 内堀 雅雄

委員：加藤 卓哉、佐々木 孝司、蜂須賀 禮子、  
本多 環、横田 純子、芳見 弘一（敬称略）

事務局 企画調整課 課長 菅原晋也、主幹 加藤 靖宏

### 1 全体的な流れ

- ・ 全体的には問題ない。
- ・ 流れとしては申し分ない。

### 2 知事の言葉

- ・ 新聞に掲載されていた、「福島に生まれて良かった」という「福島の誇りを取り戻すまで、力を合わせ挑戦しましょう」などとして入れても良い。
- ・ 同じく、「子どもたちの笑顔を輝かせ」ること。「子どもたちに本当の笑顔を輝かせることが僕の、知事の仕事なんだよ」というところが良い。
- ・ 同じく、「そこに生まれて良かった」と子どもたちが思えることは、素晴らしい。
- ・ 同じく、知事の「誇り」というのは刺さりました。これだよなど。

### 3 2015 年について

#### (1) 2015 年の捉え方

※2015 年を象徴するイベント等と言った場合、その期間の捉え方。①2014 年 3 月 11 日～2015 年 3 月 10 日（Before）、②2015 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日（暦年）、③2015 年 3 月 11 日～2015 年 12 月 31 日（After）。

- ・ 過去の一年間で進んだことを言うべき。「進んだよ」という過去のことがあると良い。ただ、そうすると施設的なもののイメージが強くなる。
- ・ 振り返るだけでなく、2015 年の 3.11 からどうやって進んでいこうかという想いもメッセージに入れたい。Before を踏まえた上で、3.11 からどう進むかという After も入れたい。
- ・ 1 年間でこれだけ頑張ってきたということを前提にし、これを踏まえて、今年はどういうことを頑張るというようにつなげた方がいい。いつも前進してきているということが伝われば良い。
- ・ 「ふくしまの未来へ」ですので、進むということがあった方がいい。
- ・ 今のもので十分伝わるのかなと思います。
- ・ 3.11 が年度末ということもあり、基本は 3.11 から 3.11 の中で。

## (2) 2015 年の内容

- ・ メッセージなので分かりやすさが重要で、そうすると施設的なものという感じになる。メッセージに、「除染が進んで」などというと分かりにくいので。
- ・ 知事メッセージを読むのは、県内の人だけじゃないと思うので、**J ヴィレッジ**を知っているという前提ではない方がいいと思います。（「廃炉作業の拠点となった J ヴィレッジ」など）

## 4 体験談からの引用

### (1) どれを選ぶか

- ・ 体験談からの引用は「悲しさ」よりも、「悔しさ」や「後悔」が良い。中でもぐっと来たのが、A の「今でも後悔しています。」というところと、B の「大人の思いと、それを忘れない 11 歳の子どもの思い」。
- ・ 去年、最初の引用は、もしスペースがあれば、2 つが良いのかなと。

### (2) 原発の話を入れるかどうか

- ・ やはり、原子力発電所は、福島県全部に関係することなので、やはりもう少し触っていただきたい。
- ・ 同じです。県でも、J ヴィレッジをきちんとしていこうという大きな目標がありますから、原子力災害についても入れておいた方がいいのかなと。
- ・ 人が亡くなったという意味では、最初は津波で亡くなった人が多かったんですが、震災関連死の方が多くなっておりますので、原発にも触れておいた方がいいのでは。
- ・ やはり、今、大熊町が会津に行っている原因が、そこにある。
- ・ 「12 万人もの県民がふるさとを離れ」。た原因は原発。やはり、原発の部分は触らざるを得ない。
- ・ 入れた方がいいと思います。
- ・ 原発のことが絡んで、岩手県や宮城県より復興が進まないということを考えると、今、皆さんが困っているのは、原発に関わる人が多いと思うので、載せた方がいい。

### (3) 2 つ引用するとして、その順序

- ・ A と B を入れると、ちょうど津波と原子力災害。
- ・ 順序は、A の津波から。
- ・ B は、今 11 歳なので、7 歳くらいの時に言われていることを覚えているのですよ。凄いなと思いました。この子は、大人になったら、ちゃんと読むんだろなと思って。将来まで続いている。

### (4) その他

- ・ 最後の教師の言葉なども、ぴったりしているのではないかな。